

（第1面）

産業廃棄物処理計画書

令和 2年 6月 23日

宮崎県知事 河野 俊嗣 殿

提出者

住 所 宮崎県児湯郡高鍋町大字上江2175

氏 名 株式会社 津房産業

代表取締役 津房 正寛

（法人にあつては、名称及び代表者の氏名）

電話番号 0983-22-1800



廃棄物の処理及び清掃に関する法律第12条第9項の規定に基づき、産業廃棄物の減量その他その処理に関する計画を作成したので、提出します。

事業場の名称	株式会社 津房産業
事業場の所在地	児湯郡高鍋町大字上江2175番地
計画期間	令和2年4月1日～令和3年3月31日

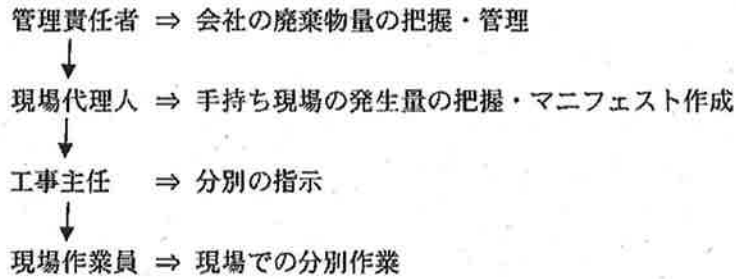
当該事業場において現に行っている事業に関する事項

① 事業の種類	建設業
② 事業の規模	元請工事完成高（令和元年度 1.5億）
③ 従業員数	8名
④産業廃棄物の一連の処理の工程	<p>がれき類 現場で発生⇒運搬⇒再生処分業者⇒再生品</p> <p>木くず 現場で発生⇒運搬⇒再生処分業者⇒再生品</p> <p>廃プラ 現場で発生⇒運搬⇒最終処分業者⇒埋立</p> <p>汚泥 現場で発生⇒中間処分業者⇒最終処分業者⇒埋立</p>

（日本工業規格 A列4番）

産業廃棄物の処理に係る管理体制に関する事項

(管理体制図)



産業廃棄物の排出の抑制に関する事項

①現状	【前年度（元年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	木屑	廃プラ・混合・汚泥
	排出量	1,018 t	44t	5 t
	(これまでに実施した取組) がれき類、木屑の全てにおいて、再生品としてリサイクルできるよう現場で適切に処理をして業者へ委託、破碎して再生品（碎石・チップ）として利用する。			
②計画	【目標】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	木屑	廃プラ・混合・汚泥
	排出量	900 t	40 t	3 t
	(今後実施する予定の取組) 今まで通り、再生品として利用できるよう現場で分別をしっかりと行い業者へ委託する。			

産業廃棄物の分別に関する事項

①現状	(分別している産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) がれき類、木屑においては再生品でリサイクルできるよう運搬前に現場で適切な処理をしてから処理業者へ委託する
②計画	(今後分別する予定の産業廃棄物の種類及び分別に関する取組) 今まで通り、少しでもリサイクルできるように現場での作業をしっかりと行う。

自ら行う産業廃棄物の再生利用に関する事項			
①現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら再生利用を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		
自ら行う産業廃棄物の中間処理に関する事項			
①現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行った産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量した産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら熱回収を行う産業廃棄物の量	t	t
	自ら中間処理により減量する産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

(第4面)

自ら行う産業廃棄物の埋立処分又は海洋投入処分に関する事項			
①現状	【前年度（元年度）実績】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行った産業廃棄物の量	t	t
	(これまでに実施した取組)		
②計画	【目標】		
	産業廃棄物の種類	がれき類	
	自ら埋立処分又は海洋投入処分を行う産業廃棄物の量	t	t
	(今後実施する予定の取組)		

産業廃棄物の処理の委託に関する事項				
①現状	【前年度（元年度）実績】			
	産業廃棄物の種類	がれき類	木くず	廃プラ・混合・汚泥
	全処理委託量	1018 t	44 t	5 t
	優良認定処理業者への処理委託量	t	t	t
	再生利用業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者への処理委託量	t	t	t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量	t	t	t
	(これまでに実施した取組) 現場で発生した産業廃棄物を種類ごとに分別し、又できる限りリサイクルできるよう現場で適切な処理を行い、処理業者へ委託する。			

		【目標】					
		産業廃棄物の種類	がれき類	木くず*	廃プラ・混合・汚泥		
②計画	全処理委託量	900	t	40	t	3	t
	優良認定処理業者への処理委託量		t		t		t
	再生利用業者への処理委託量		t		t		t
	認定熱回収業者への処理委託量		t		t		t
	認定熱回収業者以外の熱回収を行う業者への処理委託量		t		t		t
	(今後実施する予定の取組) 今まで通り現場での分別をしっかり行い、再生品の数量を増やし、建設混合物量の減少に努める						
※事務処理欄							